

⑦意見の概要

消防団の副団長として「関東・東北豪雨」において水防活動（堤防の見回り、避難誘導等）を行った際に、堤防が決壊するのではないかとゆう切迫した状況と危険（堤防天端からの吹き出し状況などを体験）を感じました。

幸いにも見回った堤防では、溢れんばかりの濁流も徐々に水位がさがり難を逃れましたが、下流部の常総市では堤防が決壊し大きな被害があり、他人ごとではないと強く感じました。

また、水害後に船玉地区に洪水により堆積した泥の除去に行った際に、被災を受けた住民とのやり取りや被災状況を見て、二度とこのような大水害による被害を生じさせないための堤防整備（堤防のないところの整備とさらなる堤防の強化等）の重要性について意見を述べたい。